

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-15	小学校	社 会	社 会	3 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	社会 304	小学社会 3年		

1. 編修の基本方針

本教科書は、発刊以来、一貫してたいせつに掲げてきた「人間尊重」の理念を基本に、社会と自分自身との関わりで主体的に考え、取り組んでいこうとする子どもたちの姿勢を重視し、支援してきました。その基本理念を本教科書でも引き継ぎ、さらに発展させました。

本教科書は、教育基本法第2条の教育の目標を達成し、上記の基本理念を実現するために、以下の三つを基本方針として編修にあたりました。

基本方針

1

自らの生き方を問い続ける子どもを育てます

～子どもたちが本気で学ぶ社会科の実現～



自分の力で

基本方針

2

みんなとともに考える子どもを育てます

～主体的・対話的で深い学びの実現～



みんなとともに

基本方針

3

未来社会をたくましく生きる子どもを育てます

～主権者として求められる資質や能力の育成～



たくましく生きる



本教科書は、上記の基本方針をより確実に実現するために、各学年ともに1巻(合本)構成としました。

1巻(合本)構成のメリット

1

見通し・振り返り活動を充実させることができます

学年を通しての学習の見通しをもつことで、学年を通じた振り返りの活動が可能となります。また、既習事項の振り返りが容易となり、分類・比較・関連等の思考を用いて捉えることが可能となります。

2

カリキュラムマネジメントへの柔軟な対応が可能となります

資質・能力の育成を保証する手だての一つとして、カリキュラムマネジメントをおこなうことが求められています。1巻(合本)構成にすることで、教科横断的な視点でのカリキュラムの編成がしやすくなります。

1巻(合本)構成とするにあたり、本文用紙には現行本よりも軽い再生紙を採用しました。

1 学びの見通しを子どもと先生が共有できる構成としました。

● ていねいでわかりやすい学年巻頭ページ

- ・ 3年ではじめて社会科を学ぶことから、巻頭にオリエンテーションページを設け、社会科の意義と学び方などをわかりやすく示しました。
- ・ 3年生の社会科をスタートするにあたって、3年生の社会科の学習でたいせつなことを生活科との関連も意識しながらわかりやすく示しました。また、もくじページでは、各大単元の学習のねらいや内容がひと目でわかるようにしました。

社会科の学習へようこそ!
いよいよ社会科の学習がはじまります。生活科でも学んだまちや、社会科の学びのふたいで、わたしたちのまちでは、いろいろな人がくらんでいます。なぜそんな賑わっているのかな、だれのためにあつていっているのかな、などと問いかけをしてみよう。さまざまな社会にあるみつとときあかしに行きましょう。

きもんを見つける
まちのなかには、いろいろな人がくらんでいます。なぜそんな賑わっているのかな、だれのためにあつていっているのかな、などと問いかけをしてみよう。さまざまな社会にあるみつとときあかしに行きましょう。

3年生の社会科の学習でたいせつなこと
3年生の社会科では、みんながくらしているまちの今と昔のようすや、まちではたらく人びとが、みんなのねがいをかなえるためにどんなことをしているのか、さくっていきます。そうすると、自分のまちがどんなすきに、そこががんばる人びとのかたちをもっと知りたくなります。わたしたちの社会は、いろいろな人びとによってつくられています。人びとは、みんながしあわせにくらすことができる社会をめざし、ちえを出し合い力をあわせて生きています。そうした社会に学ぶためには、「すごいな!」「なぜかな?」などおどろきやきもんをもち、知りたいことやよくわからないことを調べて、みんなで考えることがたいせつです。それでは、みんなといっしょに、「小学社会」とともに、社会科の学習をはじめましょう。

もくじ
1 わたしたちの住んでいるところ—1
2 わたしたちの住んでいるまちのようす—12
3 まちではたらく人びと—42
4 1工場ではたらく人びとの仕事—56
5 2店ではたらく人びとの仕事—66
6 安全な暮らしを守る—90
7 安全な暮らしを守る人びとの仕事—92
8 昔のようすとくらしのうつりかわり—124
9 1つづつわかるまちとくらし—126

3年生の社会科の学習でたいせつなこと
3年生の「小学社会」では、みんながくらしているまちの今と昔のようすや、まちではたらく人びとが、みんなのねがいをかなえるためにどんなことをしているのか、さくっていきます。そうすると、自分のまちがどんなすきに、そこががんばる人びとのかたちをもっと知りたくなります。わたしたちの社会は、いろいろな人びとによってつくられています。人びとは、みんながしあわせにくらすことができる社会をめざし、ちえを出し合い力をあわせて生きています。そうした社会に学ぶためには、「すごいな!」「なぜかな?」などおどろきやきもんをもち、知りたいことやよくわからないことを調べて、みんなで考えることがたいせつです。それでは、みんなといっしょに、「小学社会」とともに、社会科の学習をはじめましょう。

昔から今の市のように人や人びとのくらしを調べ、そのつりかわりについて考えましょう。

(表 2 ~ p.1)

(p.4 ~ p.5)

(p.2 ~ p.3)

(3年生の社会科の学習でたいせつなこと)

(大単元の学習内容)

2 子どもと教材の魅力的な出会いができるように工夫しました。

● さまざまなタイプの教材を選定

- ・ 子どもの驚きや知りたいという知的好奇心を引き出し、疑問や素朴な問いへと導き、「自分事」として捉えさせるさまざまなタイプの教材を選定しました。

● 小単元：「工場ではたらく人びとの仕事」

1 工場ではたらく人びとの仕事
工場では、いろいろな機械を使って、いろいろなものを作ります。工場ではたらく人びとは、いろいろな機械を使って、いろいろなものを作ります。工場ではたらく人びとは、いろいろな機械を使って、いろいろなものを作ります。

(p.46 ~ p.47)

典型的な事例としての単元

● 選択単元：「畑ではたらく人びとの仕事」

2 畑ではたらく人びとの仕事
畑では、いろいろな作物を育てます。畑ではたらく人びとは、いろいろな作物を育てます。畑ではたらく人びとは、いろいろな作物を育てます。

(p.56 ~ p.57)

地域の実態に即して扱える選択単元

● 特設：「海の安全を守る人びと」

わたしたちの学びが広がる
海の安全を守る人びと
海の安全を守る人びとは、いろいろな船や艇を守ります。海の安全を守る人びとは、いろいろな船や艇を守ります。

(p.122 ~ p.123)

類似した応用事例を取り上げた特設ページ

1 どの子どもも主体的に学べる問題解決的な学習をめざしました。

(1)「わたし(たち)の問題」、「学習問題」、「さらに考えたい問題」の設定

・子ども一人一人が「わたし(たち)の問題」をもち、追究するなかでより問題意識を発展させていくようすがわかるようにしました。

**問題解決的な
追究活動**
(p.94 ~ p.113)

わたし(たち)の問題

わたしたちの身のまわりには、どのようなきげんがあるのだろう。

見開きページでの素朴な疑問や問題

学習問題

地いきの安全を守るため、消ぼうしょやけいさつしよ、地いきの人びとは、どのような仕事や取り組みをしているのだろう。

学級全体で話し合いたい問題

さらに考えたい問題

わたしたちは、どのようにしてくらしの安全や命を守ればよいのだろう。

学習問題の解決後に出たさらに考えたい問題

(2)「学習の計画」の設定

・学習の見通しをもつことができるよう、調べたいことや調べ方、まとめ方などが書かれています。

学習の計画

<ul style="list-style-type: none"> 調べたいこと 消ぼうしょのせつぜい 火事の現場に早く着くためのふうし 火事を早く消すためのふうし 交通事故などの現場でする仕事 消ぼうしょやけいさつしよの人の1日 地いきの人びとがおこなっている安全を守る活動 	<ul style="list-style-type: none"> 調べ方 消ぼうしょやけいさつしよを見学し、話を聞いたり、しりょうをももらったりする。 学校のまわりを調べたり、地いきの人に話を聞いたりする。 インターネットで調べる。
--	--

(p.93)

2 交流場面を随所に設定し、対話的で深い学びがおこなえるように工夫しました。

● さまざまな交流場面を設定

・追究していくなかで、個が集団と関わりながら問題を解決する具体的な場面を効果的に設定しています。

主な交流場面

- ① 疑問から学習問題をつくる場面
- ② 学習問題から予想する場面
- ③ 学習計画を立てる場面
- ④ 学習問題について自分の考えを発表し、みんなで考える場面
- ⑤ まとめた作品をもとに話し合ったりして表現する場面など

交流場面②の例 (p.13)

交流場面④の例 (p.39)

交流場面⑤の例 (p.120)

1 社会的重点課題に取り組むことができる教科書をめざしました。

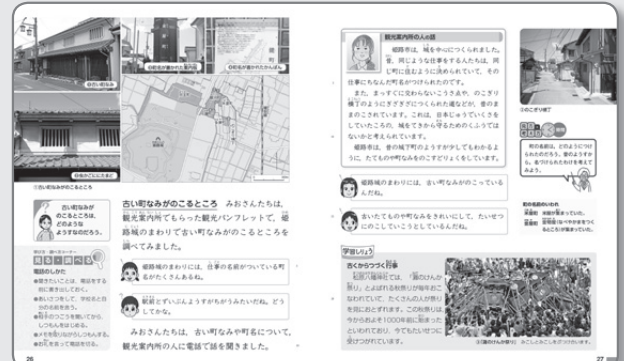
(1) 人権・福祉に関わる内容を重点的に取り上げました。



(p.150 ~ p.151)

・市に住む外国人や外国人観光客 (p.150 ~ p.151) などを積極的に取り上げ、身近で現実的な多文化共生について考えさせようとしています。

(2) 伝統・文化を尊重し、郷土や国を愛する心を育む教材を充実させました。



(p.26 ~ p.27)

・子どもたちが歴史や文化をたいせつにし、日本人としての自覚をもちながら、我が国の伝統や文化を実感として捉えられるように配慮しました。

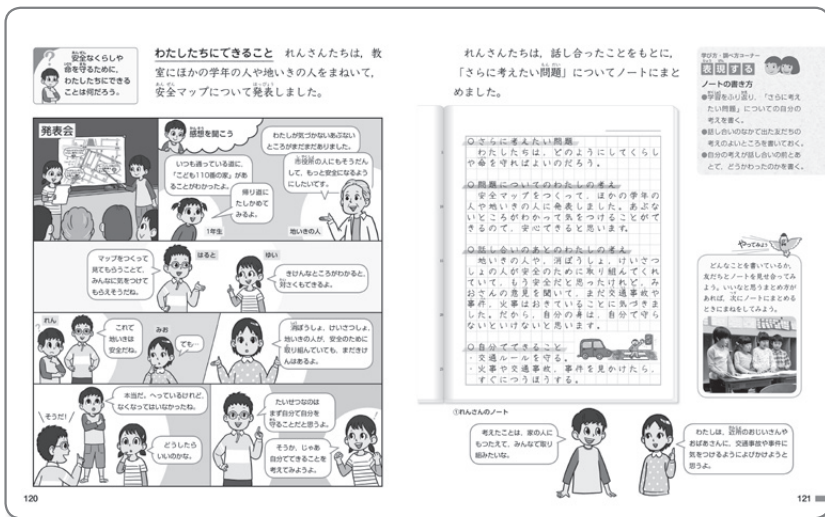
(3) 防災・安全教育に関わる教材を充実させました。

・大単元「安全なくらしを守る」(p.90 ~ p.121)において、地域の安全を守る消防や警察の仕事を調べるだけでなく、地域の安全を守るために自分たちができることは何かを考えることができる内容となっています。

(4) 社会の持続可能な発展について考える教材を充実させました。

・自然環境の保全 (p.30 ~ p.31)、古い町なみを守る運動 (p.142 ~ p.143) を取り上げ、自然環境や生活環境について、それらの問題についての考えを深めることができる内容となっています。

2 予測困難な未来社会に向かって成長していく自分を実感できる教科書をめざしました。



(p.120 ~ p.121)

・よりよい社会を創るために解決していかなければならない課題を把握し、それを解決するには何をどうすればよいのかを子どもたちが考え、選択・判断している場面を具体的に示しました。
・大単元「安全なくらしを守る」(p.120 ~ p.121) では、安全なくらしや命を守るために自分たちができることを、安全マップの発表会を通して考え、自分の考えをノートにまとめる活動ができるようにしています。

2. 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、教科書全体を通して、以下のような配慮をしました。

構成・内容		特に意を用いた点と特色	該当箇所
巻頭ページ	オリエンテーション、巻頭メッセージ、もくじ、この教科書の使い方	巻頭ページでは、教材の配列や社会科の学び方、教科書の使い方などを子どもにわかりやすく示しました。	表2～p.7
大単元	1 わたしたちの住んでいるところ 1 わたしたちの住んでいる市のようす	・生活科との接続に配慮し、学校周辺から市に広げ調べる体験活動をもとに自ら調査し、学習問題をつかみ追究する展開を提示し、問題解決的な学習の基礎の習得をはかり、真理を求める態度の育成をはかりました。(第1号) ・地域に残る建造物を調べていくなかで、それらをはぐくんできた郷土のよさと愛する心を養えるようにしました。(第5号)	p.8～p.39 p.26～p.27
	2 わたしたちの暮らしとまちではたらく人びと 1 工場ではたらく人びとの仕事 2 店ではたらく人びとの仕事	・地域に見られる生産や販売の仕事の学習などを通して、勤労を重んずる態度を育成するようにしました。(第2号) ・販売に見られる「他地域や外国との関わり」において、我が国や外国の国旗を理解し深めるよう配慮しました。(第5号)	p.42～p.87 p.82～p.83
	3 安全な暮らしを守る 1 安全な暮らしを守る人びとの仕事	・消防署や警察署の緊急時の活動などの学習を通して、勤労を重んずる態度の育成をはかり、法やきまりの尊重、災害や事故から自らを守る危機管理能力の育成、自ら社会に関わる態度などを養えるようにしました。(第2号)(第3号)(第4号)	p.90～p.121
	4 市のようすと暮らしのうつりかわり 1 うつりかわる市と暮らし	・市や人々のようすの変化を、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などによって捉える学習を通して、郷土のよさや愛する心を養えるようにしました。(第5号) ・これからの市の発展について、少子高齢化や国際化などの問題について考えることができるよう配慮しました。(第3号)	p.124～p.153 p.150～p.153
特設ページ	わたしたちの学びを生かそう	・各単元の問題意識から、子どもたちの興味・関心をさらに発展させた多様な教材や、新しい教育課題に対応した教材を掲載し、創造性と自主性を養えるようにしました。(第2号)	p.40～p.41 p.88～p.89 p.122～p.123 p.154～p.155

3. 上記以外に特に意を用いた点と特色

(1) 特別支援教育への配慮

- 一人一人の子どもが使いやすい教科書をめざして、特別支援教育の観点に配慮しました。すべての子どもたちに見やすいように、カラーユニバーサルデザインに配慮して制作しました。グラフ・地図については、色調や色の組み合わせ、斜線、ドットなどを使用するなど、配慮しました。


(2) 道徳との関連

- 地域社会の学習で、多角的・多面的な思考と理解を通して、郷土への誇りと愛情を涵養するとともに、自他の人格の尊重や公正な態度を重視するよう示唆することで、道徳教育の推進に資するよう配慮しました。

(3) 保護者への配慮－家庭、地域との連携

- 社会科がどのような教科でどのような学習をするのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかをオリエンテーションのページなどで保護者にも伝わるよう配慮し、学校・家庭・地域の連携を示唆しました。

(4) ICTの活用

- デジタルマーク  を付けた個所では、ICTを活用して学習を効果的に進められるように、弊社ウェブページにコンテンツを用意しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-15	小学校	社 会	社 会	3 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	社会 304	小学社会 3年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1

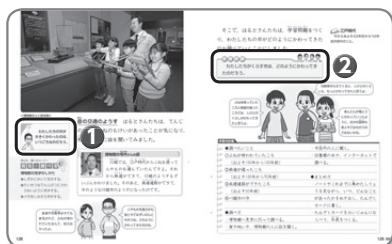
問題解決的な学習の過程が見える教科書

～どの子も本気で学ぶ問題解決的な学習の実現～

本教科書は、子ども一人一人の素朴な問いをたいせつにしなが、学習の問題の質的な広がりや深まりを重視するとともに、集団で問題を追究していくことによって、自らの見方・考え方が高まっていく過程をわかりやすく紙面上で構造的に示すことで、子どもが主体的に学習できるように工夫しました。

学びに向かう意欲や態度、能力などをどの子にもつちかっていくことができます。

(1) 学習の問題の質的な広がりや深まりがわかるように工夫しました。



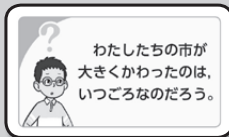
(p.128 ~ p.129)



(p.149 ~ p.150)

・次の三つの要素をもとに、学習が展開しています。

① わたし(たち)の問題



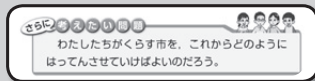
メインキャラクターの子どもが発言する見開きページでの素朴な疑問や問題です。

② 学習問題



一人一人の「わたし(たち)の問題」を話し合うなかで焦点化され、共有される、いわゆる学級全体で話し合いたい問題のことで。

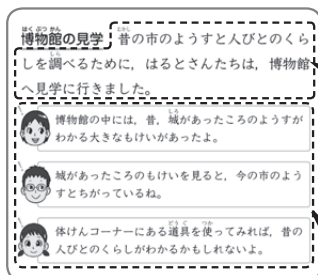
③ さらに考えたい問題



学習問題を解決した後で生まれた、学級全体でさらに話し合ったり、考えたりしたい問題のことで。

(2) 本文に役割をもたせることで、問題解決的な学習を効果的におこなえるように工夫しました。

本文の役割



(p.126)

●本文 (学習活動)

どのような学習活動をするのかが書かれている文章です。授業の展開や流れをつかむことができます。

●本文 (友だちの発言)

友だちのわかったこと(キャラクター)や疑問に思ったこと(キャラクター)が書かれている文章です。わたしの考えからわたしたちの考えへと促すようにしています。

社会的事象を調べ、考えたり，選択・判断したりするためには，社会的事象の見方・考え方を働かせることがたいせつです。その手だてを教科書紙面に明示し提案する教科書をめざしました。

● 子どもたちが社会的事象の見方・考え方を働かせる手だてとなる「見方・考え方コーナー」を新設しました。

見方・考え方コーナーの新設



鉄道や道路は，どのように通っていて，どこに多く集まっているのだろう。地図を見て考えてみよう。



(p.23)

ものごとを見たり，考えたりするときの三つの目のつけどころについて，アドバイスしています。



わたしたちの住む土地のどこに何があるのか，その広がりや大きさなどに目をつけて，ものごとを見たり，考えたりしてみよう。



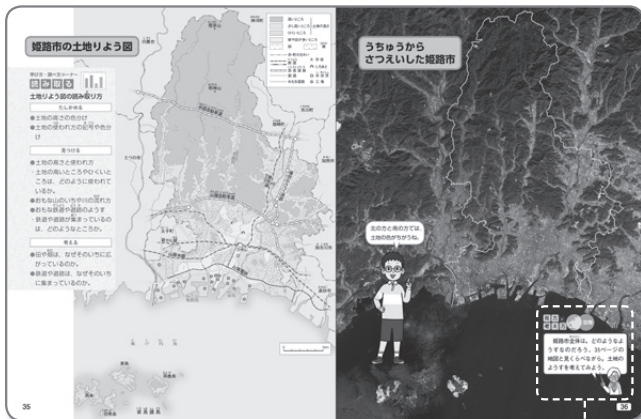
昔からみらいへとたえずうつりかわる時間の流れに目をつけて，ものごとを見たり，考えたりしてみよう。



人びとの取り組みやはたらき，つながりに目をつけて，ものごとを見たり，考えたりしてみよう。

「見方・考え方コーナー」では，視点を「空間」，「時間」，「関係」の三つの項目とし，それらをわかりやすくアイコンで示しました。

また，子どもたちが社会的事象について，調べ，考えるための視点や方法をこのコーナーで示すことで，これからの学習で子ども一人一人に社会的事象の見方・考え方が養われるようにしています。

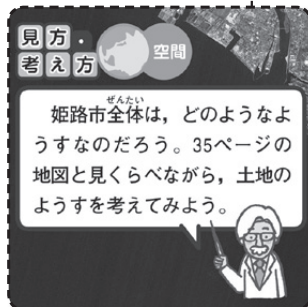


(p.36)



(p.125)

・ p.36の「見方・考え方コーナー(空間)」では，位置や空間的な広がりに着目し，姫路市の写真と土地利用図を比較して考えるように促しています。



・ p.125の「見方・考え方コーナー(時間)」では，時期や時間の経過に着目し，川越駅と電車の今と昔の2枚の写真を比較して考えるように促しています。



社会科で求められる資質・能力が確実に身につく教科書

～資質・能力を育成するためのコーナーの充実と特設ページの新設～

社会科で育む資質・能力が確実に身につくよう、さまざまな手だてを教科書紙面に明示し提案できるようにしました。

(1) 社会科の学習でたいせつな基礎的・基本的な知識や観察・資料活用力を育成するための学習技能を提示しました。

キーワードコーナーの設定

リサイクル

一度使ったものを、もう一度使えるようにしたり、別のものにつくりかえたりすること。

(p.80)

法やきまり

人びとがともにくらしのために守らなければならないルール。

(p.117)

社会科の基礎・基本を獲得する上でたいせつな社会科用語を「キーワードコーナー」として掲載しています。また、キーワードで例示した社会科用語については、本文中で太字で示しています。

「やってみよう」の設定

やってみよう

地図帳でも、夢前川にそったところのようすを調べてみよう。

(p.28)

やってみよう

年表にまとめたできごとを、つなげて考えてみよう。

(p.149)

学習や生活の基盤となる知識をくり返し使うよう示唆したり、地図帳で調べたり、作業をしたりすることを促しています。

知識や学習技能の習得などを確かなものにすることができます。

学び方・調べ方コーナーの設定

学び方・調べ方コーナー

見る・調べる

学習計画の立て方

- みんなから出されたきもんをもとに、調べたいことを決める。
- 調べたいことを、どんなじゆんで調べればよいか、みんなて話し合う。
- 調べ方を決めたり、調べためのしりょうをさがしたりする。
- 調べたことをどのようにまとめるのかを決める。

(p.13)

学び方・調べ方コーナー

読み取る

絵グラフの読み取り方

- 一つでどれくらいの数をあらわしているか。
- 自分たちの市では、どんな工場が多いか。
- 読み取ったことから、きもんを出して話し合う。

(p.33)

学び方・調べ方コーナー

表現する

安全マップのつくり方

- どのような場所があぶなくて、どのような場所が安全なのかを考える。
- 地いきを調べて、あぶない場所や安全な場所をさがしたり、地いきの人にインタビューをしたりする。
- 調べたけつかを地図にかきこむ。

(p.118)

観察力・資料活用力や表現力の基礎を確かなものにすることができます。「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の3項目のうち、「読み取る」については、「たしかめる」「見つける」「考える」の3つのステップを示すことで、確かな資料活用力を身につけることができるように工夫しました。

(2) 子どもの興味・関心を追究するとともに、多様な教材を例示する「わたしたちの学びを生かそう」を新設しました。

わたしたちの学びを生かそう

うつつりかわるまちと人びとのくらし

ゆうまさんの住む街のへんか

ゆうまさんの住む街のへんか

ゆうまさんの住む街のへんか

各単元の問題意識から、子どもたちの興味・関心を発展させた多様な教材や社会的事象の見方・考え方を働かせながら社会的意味を見出すことができる教材、新しい教育課題に対応した教材も多く掲載しています。

(教材名)

「海にかこまれた島のようす」(p.40～p.41)

「多くの人びとが集まる商店がい」(p.88～p.89)

「海の安全を守る人びと」(p.122～p.123)

「うつつりかわるまちと人びとのくらし」

(p.154～p.155)

(p.154～p.155)

本教科書の特徴表

基本項目	準 拠 性	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第2条の「教育の目標」を達成するため、同条第1項から第5項に示されるような人格の育成をめざした教科書としています。 ・①広い知識・教養と豊かな人間性②人間尊重の精神と自主自律、勤労の精神③公正公平と公共心④自然愛護、環境保全⑤伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度と国際理解、親善の心 	
		学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の社会科の目標、学年目標・内容・内容の取扱いをふまえて、社会的事象を適切に教材化した単元構成としています。 	
内容・系統		公 正 性	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の選定、記述に当たっては、内容が一方的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分、吟味・検証しています。 	
		正 確 性	<ul style="list-style-type: none"> ・検定基準等に照らして的確な内容であることを検証しています。 	
		発 達 の 段 階 へ の 配 慮	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科のスタートである3年の社会科では、生活科でつちかわれた直接的な体験や活動を通じた「知的な気づき」をもとに、自分たちの住んでいる地域社会について、社会的事象の見方・考え方を働かせて、深めていく工夫をしています。 	
		配 列 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自ら見つけ出した問題を解決するために、調べ学習などの具体的な学習活動を通して理解を深め、追究し、気づくとともに、調べたことや考えたことを表現していく過程をわかりやすいように配列しています。 ・学習対象についての情報や資料、追究過程を原則見開き2ページにまとめ、コンパクトに配分しています。 	
		学 習 意 欲 ・ 主 体 的 な 学 習 態 度 の 育 成	<ul style="list-style-type: none"> ・本の大きさをA B判として、図版スペースを広く取るとともに、資料や本文の読み取りがしやすいようにページ構成を工夫しています。各単元の展開ページにおいては、生き生きと活動する子どもの姿や働く人々の姿を的確に捉えた写真を掲載し、子どもの共感を呼び、学習意欲を高めるように工夫しています。 ・学級を代表する6名の子どもたちが登場して、学習活動を展開しています。その登場人物の発言や活動の様子が、学習者の追究意欲を喚起するとともに、学習活動の参考となるように配慮しています。 	
		多 様 な 学 習 の 実 現	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容をもとに解決方法を考えたり、他者の考えを振り返り話し合ったりするなど、社会科の特質を生かした主体的・対話的で深い学びをおこなう場面を積極的に取り入れています。 	
		言 語 活 動 の 充 実 へ の 手 立 て	<ul style="list-style-type: none"> ・言語に関する能力は、社会科の学習での思考力・判断力・表現力、さらに学習意欲を支える基盤となるものです。この能力を育成するために、国語科でつちかった言語に関する能力を基本に、知的活動の基盤という観点から、観察や調査・見学などの体験的な学習や、話し合いの場面を充実させています。 	
	重 点 課 題		現 代 的 ・ 社 会 的 課 題 へ の 対 応	<ul style="list-style-type: none"> ・人間尊重の精神と生命の尊重を基本に、人権・福祉に関わる内容や防災・安全に関わる内容などの現代的、社会的課題への対応を重視した教材を用意しました。
			伝 統 文 化 の 尊 重 と 国 際 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の尊重と国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに、他国の文化にも興味をもたせる教材を用意しました。 ・東京2020オリンピック・パラリンピックに関連した内容を取り上げることで、子どもたちの興味・関心を高めるだけでなく、国際理解・親善に関心を促すようにしています。
			社 会 の 持 続 可 能 な 発 展	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、貧困、人権、平和、開発など、社会の持続可能な発展に関わる問題についても、子どもの発達の段階に応じて取り扱いました。
そ の 他		家 庭 学 習 へ の 配 慮	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の学習のねらいや学び方を保護者へもメッセージとして伝わるよう配慮し、学校、家庭、地域の連携を示唆しました。 	
		他 教科、道徳、総合的な 学習の時間等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科のスタートである3年の社会科では、生活科でつちかわれた直接的な体験や活動を通じた「知的な気づき」(社会的認識の芽)をもとに、自分たちの住んでいる地域社会について、社会的認識すなわち、空間(地理)的・時間的(歴史)認識を広げ、深めていく工夫をしています。 ・道徳の内容項目である礼儀や公德心などと関連して、特設された「学び方・調べ方コーナー」で、他者との交流や公共の場での注意事項が具体的に示されています。 	

その他	地域教材の活用・開発	・子どもにとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮しました。
	デジタル教材の活用	・別途デジタル教材を提供する体制を整え、学習効果をより高められるよう配慮しました。
	特別支援教育への配慮	・すべての子どもが等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮しました。 ・拡大教科書を制作します。
	判型	・A B判を採用し、写真やイラストを大きくして子どもの興味・関心をひきやすくしました。
	文字・印刷・製本	・当該学年以上の配当漢字には、すべてに振り仮名をつけました。 ・文字は、子どもに読みやすいよう開発した教科書体を使用しました。 ・本文用紙は十分な強度を有する軽量化した再生紙を使用し、表紙にはコート紙を用いて美感のあふれた外観にする予定です。 ・植物油インキを用いて印刷しました。 ・製本は堅牢なあじろ綴じとし、開きやすくしました。

2. 対照表

教科書の単元	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
1 わたしたちの住んでいるところ	(1) ア, イ	p.8~p.39	17
大単元導入	(1) ア, イ	p.8~p.11	1
1. わたしたちの住んでいる市のようす	(1) ア, イ	p.12~p.39	16
2 わたしたちのくらしと まちではたらく人びと	(2) ア, イ	p.42~p.87	21
大単元導入	(2) ア, イ	p.42~p.45	2
1. 工場ではたらく人びとの仕事	(2) ア, イ	p.46~p.55	7
選択 畑ではたらく人びとの仕事	(2) ア, イ	p.56~p.65	—
2. 店ではたらく人びとの仕事	(2) ア, イ	p.66~p.87	12
3 安全なくらしを守る	(3) ア, イ	p.90~p.121	16
大単元導入	(3) ア, イ	p.90~p.91	1
1. 安全なくらしを守る人びとの仕事	(3) ア, イ	p.92~p.121	15
4 市のようすとくらしのうつりかわり	(4) ア, イ	p.124~p.153	16
大単元導入	(4) ア, イ	p.124~p.125	1
1. うつりかわる市とくらし	(4) ア, イ	p.126~p.153	15
		計	70